

科目・コース（ユニット）名：眼科・視覚
英語名称：Ophthalmology and Visual science

【担当責任者】向井 亮

【連絡先】ganka@fmu.ac.jp

【開講年次】 3 年, 【学期】後期, 【必修／選択】必修,

【授業形態】講義

【概要】眼科学は、総論としての局所解剖、眼生理/機能学、問診の方法、診断の手法（検査）、および各論としての眼球と付属器の疾患における病態・診断・治療からなる。一般内科や外科とは異なり、問診・視診が診断の根拠となることが多いのが特徴である。また、眼症状・所見を呈する全身疾患は多岐にわたり、眼底は細動脈・細静脈を観察できる唯一の部位として全身状態を反映する。眼科領域では失明に関わる問題が医師の社会的使命であり、専門的治療とともに教育・福祉機関との連携により患者の生活の質を保つことも重要なポイントである。

眼科学の講義回数は限られるので、上記の要点を概説しながら、エッセンスとなる知識が得られるように配慮したい。

【学習目標】眼・視覚系の構造と機能を理解し、眼・視覚系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。

・構造と機能

- ①眼球と付属器の構造と機能を説明できる。
- ②視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。
- ③眼球運動のしくみを説明できる。
- ④対光反射、近見反応の機能を説明できる。

・診断と検査の基本

①基本的眼科検査（視力検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査）を列挙し、それらの原理と適応を述べ、主要所見を解釈できる。

・症候

①眼・視覚系に関する主要症候（視力障害、視野異常、色覚異常、眼球運動障害、眼脂・眼の充血、飛蚊症、眼痛）を列挙し、それらの発生機序、原因疾患と治療を説明できる。

②その他の症候：めまい、頭痛・頭重感、悪心・嘔吐の鑑別疾患に眼疾患を挙げられる。

・疾患

- ①屈折異常（近視、遠視、乱視）と調節障害の病態生理を説明できる。
- ②感染性角結膜疾患の症候、診断と治療を説明できる。
- ③白内障の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- ④緑内障の病因を列挙し、それらの発症機序、症候と治療を説明できる。
- ⑤裂孔原性網膜剥離の症候、診断と治療を説明できる。
- ⑥糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。

- ⑦ぶどう膜炎の病因，症候，診断と治療を説明できる。
- ⑧視神経炎(症)・うっ血乳頭の病因，症候と診断を説明できる。
- ⑨アルカリ，酸による化学損傷の症候と救急処置を説明できる。
- ⑩網膜静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候，診断と治療を説明できる。
- ⑪網膜芽細胞腫の症候，診断と治療を説明できる。
- ⑫視機能発達と弱視の要因・治療について説明できる。

【教科書】

標準眼科学第 15 版，監修 中澤 満 / 村上 晶，医学書院。

【参考書】

現代の眼科学第 13 版，監修 所 敬，金原出版。

Clinical Ophthalmology 5th ed, Jack J. Kanski, Butterworth-Heinemann.

病気が見える Vol. 12 眼科，医療情報科学研究所，メディックメディア。

【成績評価方法】

① 評価方法

試験を実施し，可否を判定する。

② 出席について

「医学部履修規定」に基づき，「原則として 3 分の 2 以上出席したもの」が試験をうけることができる。

【学習上の注意事項】各講義とも要点を凝縮しているため授業開始時間に遅れないこと。

【垂直的統合授業の実施内容】

眼球および視覚に関わる「解剖と生理」について，2 コマの講義を行う。

各論講義においても，病態の理解に必要な形態と機能について言及する。

基礎医学と臨床医学との融合をテーマに「感染症」の講義を行う。

【水平的統合授業の実施内容】

「全身疾患と眼」の講義で，全身疾患でみられる眼所見を解説する。

各論講義においても，眼所見に合併する全身所見や症候群について言及する。

「糖尿病網膜症」については，1 コマをつかって詳細に講義する。

【本学独自の，あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

「網膜血管病変」・「加齢黄斑変性」では，光干渉断層血管撮影などの最新の網膜イメージング法による臨床研究と新知見について言及する。

学外から講師を招聘し，「眼科の先端医療」について講義を設ける。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	R8. 9. 2	水	4	(講) 解剖と生理 1 眼球	向井 亮
2	. 9. 2	水	5	(講) 解剖と生理 2 眼瞼・眼表面・眼窩	向井 亮
3	. 9. 9	水	4	(講) 小児眼科	森 隆史
4	. 9. 9	水	5	(講) 屈折矯正・コンタクトレンズ	塩谷 浩
5	. 9. 9	水	7	(講) 斜視・弱視	森 隆史
6	. 9. 17	木	7	(講) 色覚・ロービジョン	森 隆史
7	. 9. 25	金	7	(講) 眼科の先端医療	丸子一郎
8	. 10. 7	水	4	(講) 角結膜疾患	錫谷 学
9	. 10. 7	水	5	(講) 角膜移植・ドライアイ	錫谷 学
10	. 10. 14	水	3	(講) 白内障	土屋雄一郎
11	. 10. 14	水	4	(講) ぶどう膜炎	村上裕也
12	. 10. 14	水	5	(講) 加齢黄斑変性・黄斑疾患	板垣可奈子
13	. 10. 21	水	3	(講) 糖尿病網膜症	加藤 寛
14	. 10. 21	水	4	(講) 網膜硝子体疾患 網膜剥離など	加藤 寛
15	. 10. 21	水	5	(講) 網膜血管病変	前田駿介
16	. 10. 28	水	2	(講) 眼科検査 1 (前眼部・屈折など)	塩谷 雅
17	. 10. 28	水	3	(講) 眼底検査 2 (後眼部・画像など)	塩谷 雅
18	. 10. 29	木	5	(講) 眼感染症	金子久俊
19	. 11. 12	木	3	(講) 緑内障 1	則川晃希
20	. 11. 19	木	3	(講) 緑内障 2	佐柄英人
21	. 11. 25	水	4	(講) 神経眼科 1	本庄純一郎
22	. 11. 25	水	5	(講) 神経眼科 2	伊勢重之
23	. 12. 2	水	4	(講) 眼腫瘍	田中啓一郎
24	. 12. 2	水	5	(講) 眼瞼・眼窩疾患	田中啓一郎
24	. 12. 9	水	4	(講) 眼科救急疾患	加藤裕花
25	. 12. 9	水	5	(講) 全身疾患と眼	向井 亮

【担当教員】

教員氏名	職	所属
向井 亮	教授	眼科学講座
森 隆史	講師	眼科学講座
板垣可奈子	助手	眼科学講座
加藤 寛	講師	眼科学講座
本庄純一郎	助教	眼科学講座

田中啓一郎	助手	眼科学講座
前田駿介	助手	眼科学講座
則川晃希	助手	眼科学講座
塩谷 雅	助手	眼科学講座
加藤裕花	助手	眼科学講座
村上裕也	助手	眼科学講座
土屋雄一郎	助手	地域支援視機能再建学講座
錫谷 学	助手	眼科学講座
丸子一郎	非常勤講師	東京女子医科大学
塩谷 浩	非常勤講師	しおや眼科
佐柄英人	非常勤講師	マルイ眼科
金子久俊	非常勤講師	ほばら眼科
伊勢重之	非常勤講師	白河厚生総合病院

【医師として実務経験のある教員による授業科目】 該当する